

## 【授業の目標】

普段生活している環境には、音が常にあることと、音がコントロールされて生活していることを知る。

## プログラム内容(1時限50分構成)

| 項目  |                   | 内容   | ねらい                      | 時間<br>(min) |
|-----|-------------------|--|--------------------------|-------------|
| 導入  | 講師紹介              | 講師挨拶と進行説明  |                          | 10          |
|     | 企業紹介              | 会社概要の説明<br>一般的なゴムと早川ゴムが扱うゴム  | ゴム材料の理解                  |             |
| 展開Ⅰ | 身の回りの音            | 身の回りで発生している音について知る。<br>心地よい音<br>不快な音<br>聞こえる音<br>聞こえない音                  | 音について関心を深める              | 5           |
| 展開Ⅱ | 実習                | 音の変化の実験<br>鉄板に、音対策製品を貼って、音の変化を確かめる。<br>ワークショップで、班ごとに音対策を実施して防音製品のコンペを開催。 | 音が変化することを実際に確かめる。        | 20          |
| 展開Ⅲ | 音の変化を利用した音対策製品の紹介 | 音が変化した理由の解説と、実習で体験した音の変化を利用した音対策製品の事例紹介                                  | 学校で学ぶ音やエネルギーの重要性を深める。    | 10          |
| 展開Ⅳ | 技術開発業務について        | 開発での体験談や理科系科目の仕事とのつながりや面白さ   | 講師の職業観を知ること、仕事の面白さを理解する。 | 10          |
| まとめ | 質疑応答              | 質問、感想  |                          |             |